

令和5年度 学校アンケート結果について

今年度の学校アンケートについて、集計結果をお知らせいたします。

保護者の皆様には、お忙しい中、回答に御協力いただきまして大変ありがとうございました。この結果は今後の教育活動に生かしてまいります。

(4点満点)

質問項目			集計結果		
児童	保護者	職員	児童	保護者	職員
①授業は楽しく分かりやすい。	①お子さんは、学習した内容が分かっている。	①本校の児童は基礎的・基本的な学力が身に付いている。	3.5	3.3	3.3
②友達や先生の話をよく聞いて、協力して学習に取り組んでいる。	②お子さんは、話をよく聞き、自分の思いや考えを話すことができる。	②本校の児童は、教師や友達の話をよく聞き、協力して学習に取り組むことができる。	3.5	3.1	3.4
③家庭学習に計画的に取り組んでいる。	③お子さんは、時間を決めて家庭学習をする習慣が身に付いている。	③本校の児童は、家庭学習に計画的に取り組んでいる。	3.4	2.8	3.3
④自分のめあてにむかってがんばっている。	④お子さんは、自分のめあてにむかってがんばっている。	④本校の児童は、自分のめあてにむかってがんばることができる。	3.5	3.0	3.4
⑤朝の読書にしっかりと取り組み、図書室を積極的に利用している。	⑤お子さんは、休日など、読書をしている。	⑤本校の児童は、よい読書習慣が身に付いている。	3.3	2.8	3.4
⑥「よいこのきまり」を守って生活している。	⑥お子さんは、くつのかかとをつぶさないでいたりくつやスリッパなどのかかとをきちんとそろえている。	⑥本校の児童は、「よいこのきまり」を守る習慣が身に付いている。	3.5	3.0	3.1
⑦早寝、早起き、朝ごはんに取り組んでいる。	⑦お子さんは、早寝、早起き、朝ごはんを心掛けている。	⑦本校の児童は、早寝、早起き、朝ごはんの習慣が身に付いている。	3.4	3.2	3.5
⑧清掃の時間は、最後までいっしょうけぬい取り組んでいる。	⑧お子さんは、身の回りの整理や掃除を進んでしている。	⑧本校の児童は、清掃活動に進んで取り組んでいる。	3.8	2.5	3.4
⑨係活動や当番活動、児童会活動に進んで取り組んでいる。	⑨お子さんは、家庭でのお手伝いを進んでしている。	⑨本校の児童は、係活動や当番活動、委員会活動に進んで取り組んでいる。	3.6	2.9	3.7
⑩学校行事に進んで取り組んでいる。	⑩お子さんは、学校の行事を楽しみにしている。	⑩本校の児童は、学校行事に進んで取り組んでいる。	3.7	3.7	3.9
⑪いつでも、気持ちのよいあいさつをしている。	⑪お子さんは、いつでも気持ちのよいあいさつができる。	⑪本校の児童は、適切なあいさつの習慣が身に付いている。	3.4	3.0	3.0
⑫先生や目上の人などに正しい言葉づかいができる。	⑫お子さんは、親や目上の人などに正しい言葉遣いができる。	⑫本校の児童は、目上の人に対する正しい言葉遣いができる。	3.6	3.0	3.3
⑬自分の健康に気をつけ、病気やケガのない生活を心がけている。	⑬お子さんは、自分の健康に気をつけ、病気やケガのない生活を心がけている。	⑬本校の児童は、健康に気を付け、衛生的で安全な生活習慣が身に付いている。	3.6	3.1	3.3
⑭交通ルールを守り、安全に登下校している。	⑭お子さんは、交通ルールを守って安全に生活している。	⑭本校の児童は、登下校時や放課後、交通ルールを守っている。	3.8	3.5	3.3

質 問 項 目			集 計 結 果		
児童	保護者	職員	児童	保護者	職員
⑮食事のマナーを守って、好き嫌いなく、決められた時間内に食事をとっている。	⑮お子さんは、食事のマナーを守って、好き嫌いなく食事をしている。	⑮本校の児童は、給食時のマナーを守り、好き嫌いなく、時間を守って食事をとっている。	3.5	2.9	3.3
⑯先生は話を聞いてくれる。	⑯教員は、子供のことについて適切に相談に応じてくれる。	⑯自分は教育相談はもとより常日頃から一人一人と話す機会を設け児童理解を深めたり問題行動に迅速に対応したりしている	3.8	3.5	3.4
⑰先生は、自分が努力したことを認めてくれ、がんばるよう励ましてくれる。	⑰教員は、子供の努力したことを認め、励ましてくれる。	⑰自分は、常日頃から子どもの努力したことを認めたり褒めたりし、今後につながるよう支援している。	3.7	3.6	3.4
⑱先生は、人として大切なことを教えている。	⑱教員は、人として大切なことを教えてくれる。	⑱自分は、将来のことを見据えた人として大切なことを子供たちに対し指導している。	3.8	3.5	3.5
⑲家の人に学校のことを話している。	⑲お子さんは、学校の出来事をよく話してくれる。	⑲自分は、子供のよさを積極的に認め児童との信頼関係構築を築いている	3.5	3.5	3.5
⑳学校へ行くのが楽しい。	⑳お子さんは、学校に楽しく通っている。	⑳本校の児童は、学校に楽しく通っている。	3.5	3.6	3.5
㉑小学生と中学生と一緒に活動したり、学習することは楽しい。	㉑学校は小中一貫教育を推進している。(小中連携活動や学び合いなど)	㉑本校は小中一貫教育を推進している。(小中連携や学び合いなど)	3.4	3.1	3.6
㉒地域の人たちと一緒に活動したり教えてもらうことは役に立つ。	㉒学校は地域と連携した教育を行っている。	㉒本校は地域と連携した教育を行っている。	3.6	3.3	3.8

【考察】

- ①児童の質問項目は「授業は楽しくわかりやすい」です。児童の「あまりそう思わない」「そう思わない」の否定的回答が昨年度よりも減りました。教職員からすると、「基礎的・基本的な学力が身に付いている」という評価が低くなりました。今年度の復習をしながら学力の定着を図っていきます。
- ② 本校では『主体的・対話的で深い学び』の実現する授業を目指して「を学校課題とし、児童が自分の考えと互いの考えを出し合い、それらを伝え合いながら協働的に学び合うことで、児童の学びがより広がり深まるよう授業研究に取り組んできました。児童はICTを活用しながら学び合う経験などを重ねています。
- ③昨年度から児童の数値が高くなりました。三者比較では、保護者からするともう少しできるようになってほしいと感じているようです。「家庭学習協調週間」が年3回あります。そうした機会を活用することで学習習慣を身に付けていけるようにしていきたいと思えます。
- ④学校では学校生活や各行事など、各自のめあてを持たせ児童が主体的に取り組めるよう働きかけをしています。教職員は、児童ががんばっていると感じ、「あまりそう思わない」「思わない」と回答する職員はいませんでした。子どもたちはめあてにむかってがんばっています。
- ⑤保護者の評価は三者比較すると低くなりますが、昨年度よりは0.4ポイント上昇しました。児童の評価も上がりました。学校では、図書室への利用を促進するため様々な取組をしています。今後も読書のよさや必要性などについて学校で指導したり、小中一貫での「家読」の取組を継続したり、保護者の皆様のご協力も引き続きお願いいたします。
- ⑥児童は、落ち着いた学校生活を送っています。しかしながら、本年度、善悪の判断力不足が原因と思われることがあり、教職員の評価が低くなりました。「よい子のきまり」への意識を継続するため、時期を決めて児童が振り返りをしています。今後も、自分を振り返る機会をつくりながら規範意識を育てていきたいと思えます。
- ⑦子どもの生活を支える大切な習慣です。全体の数値が上がるよう、ご家庭での働きかけが必要なことにもなりますので、今後ともご協力お願いいたします。

- ⑧・⑨職員は児童は一生懸命働いていると評価しています。ご家庭でも一整理整頓をする機会をつくったり、家族の一員としての役割を与えたりしていただき、賞賛していくことで、進んで働くことのできる子どもに育っていくと考えています。
- ⑩三者とも高い評価となりました。宿泊を伴う行事、遠足や運動会等を実施できました。各行事は児童が楽しみにしていることだけでなく、児童が成長する大切な機会でもあります。今後も工夫改善しながら行事を行っていきます。
- ⑪児童はあいさつができていますと評価しています。声を出すことなどに制限がなくなったことで、一人ひとりが自分のできるあいさつを心がけ実践しています。しかし保護者、教職員からすると、もう少しできるのではと感じています。児童主体の取組などを工夫し、継続して指導していきます
- ⑫言葉遣いについては、発達段階に応じて、国語の授業や日常生活の中で指導を継続していきます。
- ⑬教職員の評価が年々低くなっています。感染症による学級閉鎖などがあったことが影響していると考えられます。学校内でのけがについては、児童が周囲の状況を考え、もう少し気を付けて行動することでけがの防止ができると考えています。指導を続けます。
- ⑭学年のスタート時に、道路の歩き方や自転車の乗り方など、警察の方から指導をいただく機会をつくっています。また休日の前には各クラスで安全な過ごし方を日々指導しています。学校では「自分の命を守る」ことについて引き続き指導をしていきます。
- ⑮児童・教職員のポイントが上がりました。食事量や好き嫌いについては、個人差があることを理解しつつ、「一口は食べてみよう」と働きかけをしています。落ち着いて時間内に食べることはできている児童が多いです。
- ⑯児童の評価は上がり、保護者、教職員の評価は昨年度より下がりました。保護者の皆様が担任や職員に話をしやすい学校の雰囲気づくりにも努めていきます。教職員として、もう少し児童と話す機会をつくりたいと思っているが、現実できていないという結果と考えます。課題として受け止めています。
- ⑰ ⑯同様です。子どもは「認められる」ことで自信をもち、新しいことにチャレンジしたり、粘り強く取り組むことができるようになったりします。本校の特色である異学年での縦割り班での活動などを通して、自尊感情が育つよう、今後も関わっていきます。
- ⑱児童・保護者は昨年度と同じ結果でした。教職員を信頼し、よく話を聞いていることがわかります。引き続き信頼される教職員となれるよう、努力してまいります。各教科や総合的な学習などで、学年に応じて将来の自分について考える機会を設けています。自分の成長を感じさせながら指導を継続していきます。
- ⑲家の人に学校のことを話す児童が増えました。保護者の評価も児童と同じ結果でした。個人差があると思われます。また学年が上がるにつれて、学校のことを話さなくなる傾向もあるかと思えます。「話さない」で終わらせず、学校での諸問題の早期発見にもつながりますので、引き続き家庭での声かけをお願いいたします。
- ⑳児童の評価が上がりました。コロナ禍から少しずつ元の学校生活になってきて、今年度はさまざまな活動ができました。行事だけでなく日々の学級での生活が充実したものになるよう今後も努めていきます。しかしながら、学校が楽しくないと答えている児童にも目を向けなくてはならないと考えています。学校と家庭と地域とが連携しながら、子どもたちが楽しく過ごせる学校になるようさらに努めてまいります。
- ㉑児童・保護者の結果が上がりました。中学生とのあいさつ運動などは、継続して実施でき小学生にも好評です。12月に予定していた清掃による小中学生の交流活動が中止となり、中学生の読み聞かせを1月に実施したため、学校評価の時期に反映できませんでした。感染症の心配があるため、来年度は時期の変更を検討しています。
- ㉒地域との連携した教育は本校の特色です。教職員はその特色を生かして児童の成長につながる活動になるように工夫して実施しています。そのため教職員の評価が高くなっていると考えます。本年度、図書室ボランティアが始動しました。保護者の方に情報提供ができるよう、今後も学校だより、HP等で活動の様子を発信してまいります。

御協力ありがとうございました。